



ライオンズクラブ国際協会 331-B地区
2024~2025年度



Lions Clubs
International
District 331-B
2024-2025

2025.2
No.628
Kitami Cabinet

ECHO

北見キャビネット [エコー誌]

Contents

- 新年のメッセージ
- オセアルフォーラム (タイ・パタヤ) 報告
- クラブ紹介
- 新入会員紹介
- 訃報のお知らせ



新春を寿ぎ謹んで お慶びを申し上げます



ライオンズクラブ
国際協会 331-B 地区
地区ガバナー
L.伊東隆志

本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう祈念申し上げます。
昨年7月よりガバナーに就任し、皆様方の「明るく、楽しい、ライオンズ」活動を目の当たりにしてまいりました。様々な奉仕活動にご協力をいただきましたこと、感謝の意に堪えません。今年も多くの人々の助けとなれますよう、さらなるアクティビティを進めて参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。
まだまだ至らない点ばかりのガバナーですが、今年は昨年以上に皆様方のご期待に応えることができるよう精進致しますので、今年も変わらぬご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



第1副地区ガバナー
L.大島尚久

2025年新年あけましておめでとうございます。
皆様、明るく楽しいライオンズ活動を継続しておりますでしょうか。
おかげさまで今のところ会員数も純増で推移しているのも伊東ガバナーの名スローガンに触発されたクラブが多いためと拝察しております。
さて今年は札幌でオセアルフォーラムが開催されます。
331-A地区主導で開催されますが同じ複合地区として主管という立場でもありますのでB地区としてもフォーラム参加登録数を増やしていくかたちで協力したいと存じます。
どうか今のうちに10月23日からの予定を開けてホテルの予約をお願いいたします。
国際的な大会に参加できるのはライオンズクラブ会員の特権でありますし、世界につながっているということが実感できる瞬間でもあります。
多くの皆様の参加をお願いして新年のご挨拶といたします。



第2副地区ガバナー
L.広瀬寛人

早いもので半年が過ぎ、残り6ヶ月となりました。第2副地区ガバナーの研修会が名古屋市で2日間開催するに当たり、事前のWEB研修課題が出され、当日はそれに基づきミッチリ扱われました。11・12月には6回に及ぶWEB研修が更に組まれ久しぶりに「お勉強」させられ感でいっぱい！でも冷静に考えるとGLTコーディネーターとしての役割に大いに役立つ知識で新たな手法で活性化を促す手法を学んだ気がします。皆様に少しでも還元出来るように残りの期間を全う致したいと思っております。各地に訪問した際には「明るく、楽しいライオンズ」で宜しくお願いいたします！



オセアルフォーラム（タイ・パタヤ）報告

OSEALフォーラム運営特別委員長 L. 大 島 尚 久

今年のオセアルフォーラムはタイの首都バンコクから車で2時間ほどの世界的に有名なリゾート地パタヤで11月13日から4日間開催されました。

今回のテーマはリバイバル。海洋プラスチックなどに汚染されウミガメに象徴される海洋生物が減少している海を元の綺麗な海に復帰させるというものです。従ってピンバッジやエコバックなどあらゆるものにこのウミガメをモチーフにしたマークがあしらってありました。

主な会議や催しはパタヤビーチのはずれの小高い丘にある2つのホテルと隣接する8千人は収容できそうなビーチというホールで行われました。

従って移動に数分しかかからず空き時間があると部屋でゆっくりできたのは良かったです。

大会2日目、開会式で正式に幕を開けたオセアルフォーラムは研修会、会議、各国のレセプションが行われ国際会長や役員の方は忙しそうに会場をはしごしておりました。

又その合間に行われる配偶者プログラムや灯籠流しなどタイならではのおもてなしに参加者の方は大いに満足したようでした。

開会式が終わった夜には北海道のタベが行われ100人以上のライオンが出席し来年の札幌オセアルフォーラムの成功を祈って大いに盛り上がりました。

大会3日目のメインは何と言っても国際会長晩餐会、開会式の会場を半分にして行いましたが人とテーブルの海でこんなに沢山の人の料理をいっぺんに作れるものかしらと不安になりました。ところがお酒の量に制限があり、これ以上お酒は出ないと言われた途端、料理を楽しむ前に席を立つ人が多く料理が無駄になってしまい、苦労して作った人たちのことを考え心が痛みました。札幌ではこのような事の無いように願いたいものです。

最終日の閉会式は北海道からも多くの参加があり、プロモーションビデオの放映や331-Aのライオンがデモンストレーションを行いました。こういった活動が功を奏して日本以外のライオンたちの多くが来札することを切に願っています。

私感ではありますがオセアルフォーラムの醍醐味の一つは開会式です。

今回も参加者の入場のおもてなしでタイの民族衣装を着た女性がたくさん配置され笑顔でライオン達を迎えたり、入場行進の先導をしたりタイならではの趣向を凝らしたショーの演出などライオンズクラブが国際的なものだ実感し感動を覚えました。

来年、札幌オセアルフォーラムで共にこの感動を分かち合いませんか。



オセアルフォーラム スナップ集



釧路めさまいライオンズクラブ

会長 L. 前田 益夫

釧路めさまいライオンズクラブは1976年2月に釧路みなとライオンズクラブ様のスポンサーにより地区67番目のクラブとして発足し、今期で49年を迎えました。

「クラブ活動を通じて奉仕の心を」をスローガンに現在37名で活動しております。

主なアクティビティは献血呼びかけ活動・チューリップ球根植え付け事業・小鳥の巣箱掛け替え事業・めさまい公園清掃・小中学生アイスホッケー大会開催など様々なアクティビティを行っております。

LCIFには毎年全会員100ドルを献金し、1,000ドル献金をして頂けている会員もいます。当クラブは来年度CN50周年を迎えます。

これは偏に331-B地区のクラブ様始め多くのクラブ様のご協力の賜物であり感謝の気持ちでいっぱいでございます。

今後ともクラブ会員団結し、地域社会の為の奉仕活動に取り組み地区ガバナースローガンであります「明るく、楽しい、ライオンズ」を体現し続けていきたいと思っておりますので今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



チューリップ球根植え付け事業



クリスマス家族例会

中標津ライオンズクラブ

幹事 L. 江口 智子

緑豊かな中標津町は、国内最大規模の農林業が盛んな町である。中標津ライオンズクラブ（板野哲身会長）は、兼ねてから植樹活動に力を入れていたが、昨年新たな植樹場所として、町郊外の岩谷学園ひがし北海道日本語学校(以下日本語学校)敷地を選定した。

日本語学校が開校した2021年はコロナ禍の真っ只中であり、日本への渡航も厳しい条件の中、バングラデシュやスリランカ等からの留学生を迎え、今では町内でその姿を見かけることも珍しくなくなった。

こうした留学生との多文化共生の証として、また彼らが中標津町を第二の故郷として、いつか成長した木を見に戻りたいと思ってもらえるよう、初年度である昨年は留学生とともに20本の桜の苗木を植樹した。

木を植えるのは初めてという留学生たちに、クラブメンバーが手順を説明し、ともに汗を流しながら植樹を行った際の記念写真は、クラブの象徴的なアクティビティとして例会報の表紙となっており、今年度以降も継続する予定である。



植樹の様子



岩谷学園ひがし北海道日本語学校



旭川大雪ライオンズクラブ

会長 L.片岡 幸人

旭川大雪ライオンズクラブは、1961年6月、旭川ライオンズクラブのスポンサーにより結成した、北海道で34番目、331-B地区では8番目のクラブです。

会員数は12月現在で、40名で活動しています。

地域社会への奉仕活動と致しまして、毎年2回の献血推進活動、又当クラブの主催では毎年10月には中学生サッカー大会、1月には中学生新人卓球大会を行っています。

私が今願っている課題と致しまして、会員の増強と例会出席率の向上です。会員は、年齢を増しますと共に脱会される方もおられます。しかし若い人たちの入会もありまして今は40人を確保していますが、やはりあと10人前後の入会を希望しています。

出席率の向上も、マンネリ化した例会ではなく、楽しい例会にしたいと思えます。言葉では何でも言えますが、大変難しいかもしれません。

勉強会を定期的に行ってみるのも一つの考え方と思っています。

皆さんのクラブも同じことを願っていると思われるので、一緒に考えて行きたいと思っています。



旭川地区中学校サッカー大会

旭川中央ライオンズクラブ

会長 L.早川 直久

当クラブは、1959年11月28日に旭川ライオンズクラブのスポンサーにより結成され、65周年を迎えました。

かつて120名以上の在籍があった会員も、現在会員数12名と少人数になりましたが、ライオンズの誓いを実現させるために、活動を行っております。

アクティビティでは、献血・盲導犬協会への助成金、社会福祉協議会へ、古切手・リングブル・タオルを収集し寄付する活動を行っています。

継続アクティビティでは、毎年1月に全道少年アイスホッケー大会を主催、今期で18回目になり子供たちの活躍の場を提供することに注力しています。

今期 motto を「繋ごう奉仕の輪を」としました。65周年を超える長きにわたって当クラブを盛り上げて頂いた先輩会員の思いを会員一同で継続させ地域に貢献する奉仕活動を続けていきます。



北海道盲導犬協会へ寄付金贈呈



富良野ライオンズクラブ

会長 L. 奥野 裕史

富良野ライオンズクラブは、1962年3月4日に芦別、旭川両ライオンズクラブの献身的なご尽力により、道内45番目のクラブとして結成されました。

今年度は「持続可能な奉仕を目指して」をモットーに57名の会員で地域に根差した奉仕活動に取り組んでおり、新たに3名のメンバーが加わり活気あふれるクラブづくりに邁進しているところです。

ライオンズデーでは毎年「桜の植樹」を実施していましたが、シカの食害等により継続が困難な事から、新たなアクティビティとして、一般の方々も交えての「交通安全啓発集会」を開催、富良野警察署から交通安全講話をいただき、市内を通る国道沿いにて総勢80名による旗の波運動を実施しました。

また、「キッズダイニング」と称し、子供たちに向けたラーメンコーナーや袋詰野菜の提供、パフォーマーによるバルーンアートなど笑顔が絶えない満足度の高いイベントを開催することが出来ました。

今後も62年の歴史を築きあげて下さった先輩ライオンの精神を引継ぎ、次世代へ繋げていけるよう全力で取り組んでまいります。



交通安全啓発集会後
国道沿いにて総勢80名による旗の波運動



キッズダイニング ～ラーメンコーナー～

旭川ナナカマドリオンズクラブ

第一副会長 L. 谷口 孝史

旭川ナナカマドリオンズクラブは、旭川北斗ライオンズクラブのスポンサーにより、平成元年に結成されました。現在でもチャーターメンバー6名が活躍しております。今年度は結成35周年を迎える事となり、3月には記念式典並びに祝賀会も計画中です。

30周年記念事業をコロナ禍で迎えてしまい、記念式典も祝賀会も行えずにりましたが、記念アクティビティは計画通りに行いました。旭川市中央図書館に図書と大型絵本と書架を、旭川市愛育センターに子ども遊具一式を、旭川剣道連盟に日本手ぬぐいを、旭川商業高等学校吹奏楽部には管楽器フリューゲルホルンを寄贈いたしました。

35周年は継続記念事業として、旭川市中央図書館に児童図書と大型絵本の寄贈。旭川商業高等学校吹奏楽部には鍵盤打楽器ビブラフォンを寄贈。そして新たに計画を立てたアクティビティとして、子ども食堂にお米5俵の寄贈を行います。

今年度の旭川ナナカマドリオンズクラブ会長スローガンである『青少年の育成に励みましょう！』をモットーに、会員28名全員が一丸となっております。35周年記念事業を行う事が出来ればと思っております。



子ども食堂にお米寄贈



浦幌ライオンズクラブ

幹事 L.久保博史

我が浦幌LCは2024年6月14日にチャーターナイト60年を迎え7月27日に記念式典を開催し一区切りを迎えたところです。

この60年の長い歴史の中で結成からの歴代会長をはじめライオンズの歴史を継承してくれた偉大なる諸先輩方に深甚なる敬意と感謝を表すところです。一区切りを迎えたところではありませんが、非常に残念な出来事もありました。クラブの中核を担っていたベテラン会員の死去と退会です。入会7年目の私にとっては入会当初からお世話になっていた2人でしたから本当に寂しい限りです。2人の会員減もあり、現在は14名の会員で会員増強に苦慮しながら少数精鋭でアクティビティを行っているところです。先日はライオンレディを含め久しぶりの飲食を伴う年忘れ例会を開催。余興も行い大いに盛り上がったところです。また、今後のアクティビティは薬物乱用防止の啓発活動を始め小学校卒業生や新入学生への記念品贈呈やスポーツ少年団への協賛など目白押しです。会員数は少ないですが、更に歴史を刻めるように結束力を深め地域のために出来ることを全力で取り組み、地域から愛され続けられる浦幌LCを目指します。



浦幌ライオンズクラブCN60周年記念式典

帯広平原ライオンズクラブ

MC・IT委員長 L.本田公一

「共に知恵と力を合わせ 奉仕をしよう」L三谷 暁会長スローガンのもと実施した今年度のアクティビティを紹介致します。



こども未来文庫

52年間に亘るアクティビティ。

帯広市図書館に児童図書購入資金として寄贈。

寄付総額615万円（図書4,600冊分相当）



帯広平原ライオンズクラブ杯 帯広少年野球大会

今年で46回目の青少年健全育成アクティビティ。

大会に選手として出場した少年が、平原ライオンズクラブのメンバーとして活躍しています。



献血の呼びかけ

40年以上続くアクティビティ。

帯広血液センターの設立には、平原ライオンズクラブは多大な貢献をしました。



赤い羽根共同募金

帯広市社会福祉協議会・帯広市共同募金会の呼びかけに応じたアクティビティ。

寒風のなかで寄付のお願いをしました。



児童養護施設「十勝学園」の子どもたちとの交流と支援

餅つきは子どもたちも参加。ついたお餅をきな粉餅、雑煮にして子どもたちと一緒にいただきました。帯広さくらライオンズクラブさんとの合同アクティビティ。

ドライヤーなど生活備品も贈呈致しました。



芽室ライオンズクラブ

会長 L.伊賀正志

“SWOT分析をグループワークで実践!”

この度の寄稿については、当クラブの拙い活動を披露させて頂く稀な機会ですので、本誌面をお借りしますこと、冒頭にお礼申し上げます。

さて、我がクラブは、幾多のアクティビティに取り組んでいますが、今迄この欄で紹介させて頂いたのは、蕎麦打ちをツールとした施設訪問を始め、子供食堂の収穫体験等と、食を中心にしたものが多く、ライオン誌にもそうした記事が掲載されましたので、お目にされた方も多いのではないかと思います。

それでは、前書きが長くなりましたが、今回は地区役員から連署で依頼のありましたSWOT分析への対応について、研修で馴染深いグループワークの手法を活用して取組ましたので、そのプロセス等を報告させて頂きたいと思えます。

この件は、GMA委員会の方針がHPにも公開されているものの、具体的な行動指針を熟知していない状況下、キャビネットから本年2月末に、ZCの説明を経て5月末には回答を指定する実施通知が届きましたので、如何に短期間で実のある集約を行えるか苦慮したところでした。

況してや、331複合地区は基本的にローカルなゾーンですから、ポジティブに活動を展開しているクラブも多々ありますが、蓋然的に弱みの共通点は熟知しており、今や都市部でさえ会員増強に苦慮し、ゾーン役員の推薦基準をも緩和する状況にある昨今、結論ありきで回答を見出す必要性に疑義を唱える会員が多い中、実務研修と位置付け改めてその検討をすることにしました。

今までも外部講師を招き対面による研修のみならず、内部の有識者による自己研鑽型の研修は行いましたが、今回は回答を導き出し、且つ纏める必要がありましたので、地方行政を担う前会長のアドバイスを参考に、町が運営する「町民活動支援センター」からファシリテーター数名の派遣を受け、定例会において分析に要するワークシートの作成を行いました。お越し頂いた世話人のレイマンコントロールにより、会員からはレジェンドらしい忌憚ない意見が多数飛び交い、目指したリアル研修は一定の成果を収め、成功裡に終えました。

については、この度の企画を通じて、ライオン以外の人材を交えたグループ協議の大切さを実感しましたので、その必要性を各位にお伝えするため、この寄稿のテーマとさせて頂きましたが、今後も微力ながら機会を捉え、既存の委員会等のみではなく、横断的なグループによる論議の場を設けることを提唱して行く所存であります。



留萌みなとライオンズクラブ

マーケティング・IT委員長 L.丹羽善則

当クラブは、国内683番目、331-B地区内では32番目のクラブとして、1963年12月に留萌ライオンズクラブのスポンサーのもと25名のチャーターメンバーで誕生しました。これまでの60年間様々な奉仕活動を行っております。継続事業としましては、管内の小学生を対象とした『小学生バレーボール大会』や、あんどん運行における『薬物乱用防止啓発活動』、多くの観光客が集まる留萌市の海水浴場ゴールデンビーチを綺麗にする『クリーン作戦』、リングブルを車椅子に換え施設などに寄贈する『リングブル回収事業』、市民に不要になった生理用品を寄付して頂き市内の中学校に配布する『おもいをつなぐProject』（生理の貧困支援事業）、更には留萌市民、各市内企業のご協力を頂きながら献血活動も活発に行っております。また、近年では、留萌管内の小・中・高校生を対象にした『留萌管内吹奏楽祭』、中学生を対象とした『薬物乱用防止教室』も開催しております。

盲導犬事業にも力を入れ、盲導犬育成奉仕事業として募金活動や、市内の小学生を対象に今後『盲導犬教室』も開催する予定です。

これからも全会員で地域社会と青少年育成のため、積極的に奉仕活動を続けて参りたいと思えます。





増毛ライオンズクラブ

会長 L.長谷川 勇 恵

「地域へ奉仕と思いやりを！」を今期の会長スローガンとする増毛ライオンズクラブは、1965年に留萌ライオンズクラブのスポンサーにより、チャーターメンバー29名により331-B地区の41番目のクラブとして誕生し、昨期に無事創立60周年を迎える事ができ、現在は26名の会員でクラブを運営しています。

今期の活動方針（重点目標）は「青少年育成事業の充実」であり、アクティビティとしては、40年近く継続している「フットサルジュニア大会」元全日本バレーボール選手をコーチに迎え実施した「小学生バレーボール教室」青少年の「食」に重点を置き、増毛町で収穫したお米・野菜・果樹を給食用に提供した「食育事業」学校で行う「餅つき行事の手伝い」等々会員の協力の下、奉仕活動に勤しんでいます。

また、青少年育成事業以外にも「植樹」「救急隊への感染防止着寄贈」「清掃活動」「献血活動」「交通安全旗の波運動」等々実施をしています。

増毛ライオンズクラブは、伊東ガバナーのスローガン「明るく、楽しい、ライオンズ」の下、会員が楽しく地域に奉仕活動ができるクラブを目指し頑張っています。



食育事業



小学生バレーボール教室



植樹活動

稚内ライオンズクラブ

会長 L. 栃木 潤 子

稚内ライオンズクラブは1962年4月、19名のチャーターメンバーにより結成されました。結成以来1428回目の例会を2024年12月6日「歳末助け合いXmas 家族同伴例会」を催し、稚内市への義援金の贈呈を行い、仲間たちと楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

結成当初は多くのライオンに支えられクラブ運営、奉仕活動を実践して参りましたが現在は家族会員を含め27名と年毎に会員減少が進んでおり退会防止と会員拡大が課題となっております。

我がクラブの特徴は少ない会員においてアクティビティに欠かせない家族会員の活躍が自慢であり、最大の特徴であると自負しています。

今年も稚内市のスポーツイベントである「第7回最北端わっかない平和マラソン大会」が開催され、国内外から多くのランナーがエントリーされました。稚内市より飲食ブース出店の要請を受け、準備期間も少ない中で用意を重ね、大会当日は提供された地元の食材も多く好評を頂きました。来年度以降の収益事業への取り組みとして、とても良い結果の得られた一日となりました。

人口減少が進む稚内市にあってこれからもライオンズ精神のもと地域に貢献できるアクティビティを目指し奉仕活動を続けてまいります。



第7回最北端わっかない平和マラソン大会



歌登ライオンズクラブ

会長 L.七戸 忠之

当クラブは、1981年6月から発足43年が経ち、当初30名近いクラブ員も地域の人口減少と共に現在10名、平均年齢74歳のクラブとなりました。

しかし、一人でも会員増強を目指し、前向きに少数精鋭ながら月2回の例会、各事業の継続へと積極的に活動を行い地域に存在感を果たしています。

我がクラブは、先人の築き上げたものを絶やさないためにも身の丈に合った活動をし、今後も地域社会に少しでも貢献できるように奉仕活動を行っていききたいと思います。

主な活動は、少年野球大会協賛、新入学児童への祝い品の贈呈、特別養護老人ホームへのクリスマスプレゼントの贈呈、歳末助け合い事業への協賛、ゲートボール協会との交流大会参加などを行っております。

今後も地道に一歩一歩、邁進してまいります。



アクティビティ、エアコン設置



アクティビティによる枝幸町からの感謝状

網走桂ライオンズクラブ

PR・情報委員長 L.上野 恭裕

当クラブは1974年4月20日、網走ライオンズクラブのスポンサーによりチャーターメンバー43名で誕生しました。クラブの名称は網走市の指定木「かつら」に因んで網走桂ライオンズクラブと命名しました。この名が縁で京都桂ライオンズクラブ、高知桂ライオンズクラブと姉妹提携を結び、お互いのチャーターナイトには例会での交流と3クラブ合同での記念事業を続けています。

主な活動は、「中学校吹奏楽振興桂基金の設立」「ことばの教室への支援」「網走市少年少女スポーツ表彰式の開催」「新入学児童へのランドセルカバー贈呈」など、青少年育成と子どもたちの健やかな成長を願う事業の他に、「清掃活動」「交通安全運動」「献血運動」「歳末助け合い募金」「古切手の回収」など、地域の人たちに密着した事業も長く行っています。

又、趣味の会としてゴルフ同好会、パークゴルフ同好会が有り和気藹々と親睦を深めています。例会やアクティビティを通して会員相互の繋がりを固め、共に活動する意義と楽しさを感じられるクラブで有りたいと思います。



清掃活動



ことば教室への支援



網走市少年少女スポーツ賞授賞式



新入会員ご紹介

奉仕の志を抱いて入会された 新会員をご紹介します

12月25日までの受付分を
掲載しています

- ①入会年月日 ②生年月日
- ③勤務先または職業 ④役職



よし くに ひで たか
L. 吉 國 秀 隆

5R2Z 北見中央ライオンズクラブ

- ①2024年11月
- ②1973年1月19日(51歳)
- ③(株)ライフプラス
- ④代表



あ べ ひろ よし
L. 阿 部 浩 好

1R2Z 釧路めさまいライオンズクラブ

- ①2024年11月
- ②1968年12月30日(55歳)
- ③(有)宮一損害保険事務所
- ④代表取締役



た だ ご ろう
L. 多 田 吾 郎

5R2Z 網走桂ライオンズクラブ

- ①2024年11月
- ②1953年10月8日(71歳)
- ③網走不動産(株)
- ④非常勤取締役



あ さ だ やす のり
L. 浅 田 康 詞

2R2Z 富良野ライオンズクラブ

- ①2024年11月
- ②1974年1月7日(50歳)
- ③(株)サンエービルド工業
- ④代表取締役



な ら ま き
L. 奈 良 真 希

1R2Z 根室ライオンズクラブ

- ①2024年12月
- ②1978年3月29日(46歳)
- ③琥蓮(水産業)
- ④代表



ほ し み き お
L. 星 幹 雄

2R2Z 旭川ナナカマドリオンズクラブ

- ①2024年11月
- ②1969年1月7日(54歳)
- ③(有)星電設工業
- ④社長



か ま だ か ず あ き
L. 鎌 田 和 晃

2R2Z 富良野ライオンズクラブ

- ①2024年12月
- ②1972年1月11日(52歳)
- ③オサダ農機(株)
- ④代表取締役



う え し ま め ぐ み
L. 上 畠 恵 美

3R2Z 帯広平原ライオンズクラブ

- ①2024年11月
- ②1968年11月14日(56歳)
- ③(有)テラシマ内装
- ④取締役営業部長



ま つ だ た く や
L. 松 田 卓 也

2R2Z 旭川東ライオンズクラブ

- ①2024年12月
- ②1964年4月18日(60歳)
- ③旭川市議会
- ④市議会議員

支部会員

わ た な べ けん じ
L. 渡 辺 健 二

①2024年11月

3R2Z 帯広中央ライオンズクラブ



謹んで哀悼の意を表しお悔やみ申し上げます



故 L. 佐々木 一也 **2R1Z** 旭川大雪ライオンズクラブ
2024年11月1日逝去 (享年60歳)

2017年7月 入会
2022-2023 幹事
2024 会計

故 L. 佐々木一也は、2017年7月に入会し、これまでに幹事、ライオンテーマなどを歴任され今年には会計の役職についていました。旭川大雪ライオンズクラブの会員として、サッカー大会、卓球大会など献身的に地域社会奉仕活動に尽力いただきました。温厚誠実な人柄は誰からも親しまれ、当クラブ運営にも積極的に努めていただきました。突然のご訃報に会員一同深い悲しみの中にあります。これまでともに歩んできましたクラブ発展の功績に対し、敬意と感謝の誠を捧げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

旭川大雪ライオンズクラブ会長：L. 片岡 幸人



故 L. 村井 敏彦 **4R1Z** 留萌みなとライオンズクラブ
2024年11月28日逝去 (享年73歳)

2012年7月 入会
教育・保健・市民奉仕委員
計画委員
PR情報委員
財務委員

故 L. 村井敏彦は2012年に当クラブに入会し、会員歴は今年で12年。その中で50周年大会、55周年大会と多くの周年記念大会を経験されており、体調を崩し参加することが出来なかった60周年記念大会では、式典の様子や旧留萌駅舎で行った祝賀会の内容について大変興味をもち、成功を喜んで下さったり、準備の手伝いができなかったことにも大変悔いなどクラブ思いの方でした。いつも優しく、おおらかで温厚な人柄、私も様々な場面で励ましをいただき、大変尊敬する先輩でありました。故人の築いてきたライオンズ活動は我々後輩にしっかりと受け継がれています。常に研鑽に励み、人を想い、行動力、指導力を発揮する人。この想いをしっかりと胸に刻み、村井さんが愛したこの地域をより良いものにするために、邁進する所存です。生前のご活躍に深い感謝と尊敬を捧げ、会員一同心からご冥福をお祈り致します。

留萌みなとライオンズクラブ会長：L. 山田 篤



故 L. 遠山 晴義 **2R1Z** 旭川ライオンズクラブ
2024年12月21日逝去 (享年94歳)

1969年10月 入会
1989-1990 クラブ会長
1992-1993 331-B地区
第2RR・C
2009-2010 331-B地区
地区会計監査委員

旭川LCを代表し、遠山晴義元会長のご逝去に際し、謹んでお別れの言葉を申し上げます。故 遠山Lは、昭和44年入会以来55年の永きにわたりライオンズクラブの発展と地域奉仕活動に情熱を注がれてきました。献眼事業におきましては旭川医大アイバンク発足以来、副理事長を歴任され、数多の目の不自由な方を救っていただきました。仕事を愛し、家族や友を愛し、どんな時も穏やかで優しくあったあなたの周りには、たくさんの仲間が集い、ライオンズ活動を共にできたことは我々の誇りであり、生涯の指導者でした。これまでのご功績と奉仕活動に感謝申しあげ、心よりご冥福をお祈りいたします。

旭川ライオンズクラブ会長：L. 吉村 雄治



故 L. 伊藤 巖 **3R1Z** 本別ライオンズクラブ
2024年12月28日逝去 (享年87歳)

2009年12月 入会
2011-2012 第二副会長
2012-2013 第一副会長
2013-2014 会長

伊藤ライオン、体調を崩されたと聞き、そのうち病状も安定し、いつもの大きな声で、お得意の冗談のひとつも聞かせていただけたらと思っておりましたのに思いもよらぬ訃報に接することになりました。ひたすらあなたのご指導を心の拠り所としてまいりました会員一同は驚きと深い悲しみでいっぱいです。クリスマス移動例会、新旧役員交代パーティには、いつも笑顔一杯で参加され、常に場を盛り上げて頂き、中心的存在でした。先見性とライオンズ愛、そして暖かいお人柄は、今後も何かとご指導を頂けるものと期待しておりましたのに、とても残念でなりません。あなたのこれまでの功績に敬意と感謝を捧げます。ありがとうございました。

本別ライオンズクラブ会長：L. 藤田 直美

◆ 会員増強状況

2024年12月度

	期首	前月末	入会		退会		今月末		比較	
			当月	累計	当月	累計	当月	期首	累計	
クラブ数	69	69	0	0	0	0	69	0	0	
会員数	1,896	1,915	3	61	22	61	1,896	0	-19	



◆ アクティビティ活動報告

項目	件数		実績
金額アクティビティ	312件		5,093,857円
労力アクティビティ	39件		660.0H
献血アクティビティ	6件	動員数 641人	252,000cc
使用済み切手			1,800枚
献眼登録アクティビティ			0人
献眼アクティビティ			0人
献腎登録アクティビティ			0人
献腎アクティビティ			0人

◆ レオクラブ会員数

釧路レオクラブ	13名
帯広レオクラブ	6名
オホーツクレオクラブ	8名

◆ リジョン別会員数

リジョン名	Z数	クラブ数	平均出席率%	R				会 員 種 別									
				会員数	会員数	会員数	会員数	正会員	不在会員	名誉会員	終身会員	優待会員	賛助会員	準会員	子家族会員	子家族会員	女性会員
1	2	10	89.6	317	140	177		314	0	0	2	1	0	0	71	246	76
2	2	14	81.8	364	175	189		354	0	0	10	0	0	0	11	353	39
3	2	16	81.1	350	183	167		340	0	0	2	1	7	0	33	317	52
4	3	14	70.9	440	164	101	175	426	0	0	14	0	0	0	79	361	104
5	2	15	80.2	425	246	179		409	1	1	9	5	0	0	41	384	69
計	11	69	80.7	1,896	908	813	175	1,843	1	1	37	7	7	0	235	1,661	340

北見キャビネットシンボルマーク コンセプト



331-B地区から、小さなハーブが芽生えました。皆様にさわやかな風をお届けしたいと思います。

表紙写真

「オホーツク海の流氷」



写真提供：北見中央LC L野脇 弘

ECHO

エコー(第628号)2025年2月号

1965年(昭和40年)9月10日創刊

◆発行日 2025年(令和7年)2月

◆発行 2024-2025年度

ライオンズクラブ国際協会331-B地区
北見キャビネット事務局

〒090-0024

北見市北4条東4丁目3 伊東ビル3F

TEL:0157-33-4445 FAX:0157-33-4446

E-mail:kitami-cab@hyper.ocn.ne.jp

◆編集 331-B地区 マーケティング・IT委員会